

令和6年12月16日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）における 令和7年度新規プロジェクトの決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」における新規プロジェクト13件を決定しました（別紙1）。

本事業は、博士後期課程の学生が研究に専念できる環境を整備し、卓越した博士人材の育成や輩出を目指すプログラムです。博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「博士課程に進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「博士課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率が減少傾向にあり、危機的な状況が指摘されています。そうした状況を踏まえ、本事業では、既存の枠組みを越えて優秀な博士後期課程の学生の選抜などを行う事業統括を大学ごとに選定し、当該事業統括により選抜された学生への生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツの提供を始めとする多様な支援を行います（参考）。

今回の公募は、令和6年8月9日（金）から9月30日（月）まで行い、外部専門家で構成された委員会による審査（別紙2）を経て、13件の支援プロジェクトを決定しました。

詳細については、下記ホームページをご覧ください。

ホームページURL：<https://www.jst.go.jp/jisedai/spring/index.html>

<添付資料>

別紙1：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択プロジェクト・事業統括一覧

別紙2：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」運営委員会 委員一覧

参 考：「次世代研究者挑戦的研究プログラム」公募概要

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 助成事業推進部 博士学生支援グループ

〒102-0081 東京都千代田区四番町4番地2

今津 杉子（イマツ スギコ）、正木 法雄（マサキ ノリオ）

E-mail：jisedai-application@jst.go.jp

※お問い合わせは電子メールでお願いします。

＜科学を支え、未来へつなぐ＞

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」採択プロジェクト・事業統括一覧

(大学名五十音順)

大学名	事業統括	プロジェクト名
お茶の水女子大学	新井 由紀夫	「革新」×「共創」で未来を拓く女性博士育成プロジェクト T-COCA Transformative Co-Creation and Optimization in Career Opportunities for Advanced Scholars
近畿大学	松本 和也	実学教育と総合大学の強みを活かした社会実装思考型の博士人材育成プログラム
自治医科大学	大野 伸彦	地域に根差した次世代基礎・臨床医学研究者育成プロジェクト
創価大学	鈴木 将史	<i>In silico, in vitro, in vivo, in mundo</i> 融合型博士人材育成プログラム
総合研究大学院大学	山本 智	社会の諸課題に挑み未来を拓く「SOKENDAI 特別研究員」制度の強化
東海大学	濱本 和彦	総合力で未来創造に挑み続ける博士人材育成プログラム (Tokai-SPRING SACRA)
東京外国語大学	中山 俊秀	多文化共創イノベーションリーダー育成プログラム
東京電機大学	保倉 明子	実学尊重に基づくTDU博士人材育成プログラム
鳥取大学	河田 康志	知と実践の融合による次世代博士人材育成プログラム (TU-SPRING)
富山県立大学	中島 範行	富山から未来を拓く次世代博士人材育成プロジェクト
長岡技術科学大学	山田 昇	グローバル実践型博士人材育成プログラム
福島大学	長橋 良隆	共創シミュレートによる次世代の共生システム理工学人材の育成
藤田医科大学	永井 拓	独創力で医療研究の新時代を切り拓く次世代研究者育成プログラム (Medical Research Innovators of Tomorrow Program: MeRIT)

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」運営委員会 委員一覧

役割	氏名	所属・役職
委員長	笠原 博徳	早稲田大学 理工学術院 教授
委員	大隅 典子	東北大学 副学長／大学院医学系研究科 教授
委員	尾上 孝雄	大阪大学 理事・副学長
委員	神成 文彦	慶應義塾大学 理工学部 名誉教授
委員	佐藤 康博	株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問
委員	島田 啓一郎	ソニーグループ株式会社 社友
委員	杉山 直	名古屋大学 総長
委員	橋本 隆子	学校法人千葉学園 理事／千葉商科大学 商経学部 教授
委員	長谷山 美紀	北海道大学 副学長／大学院情報科学研究院 教授
委員	林 隆之	政策研究大学院大学 政策研究科 教授
委員	樋原 伸彦	早稲田大学 大学院経営管理研究科 准教授
委員	日比谷 潤子	国際基督教大学 名誉教授

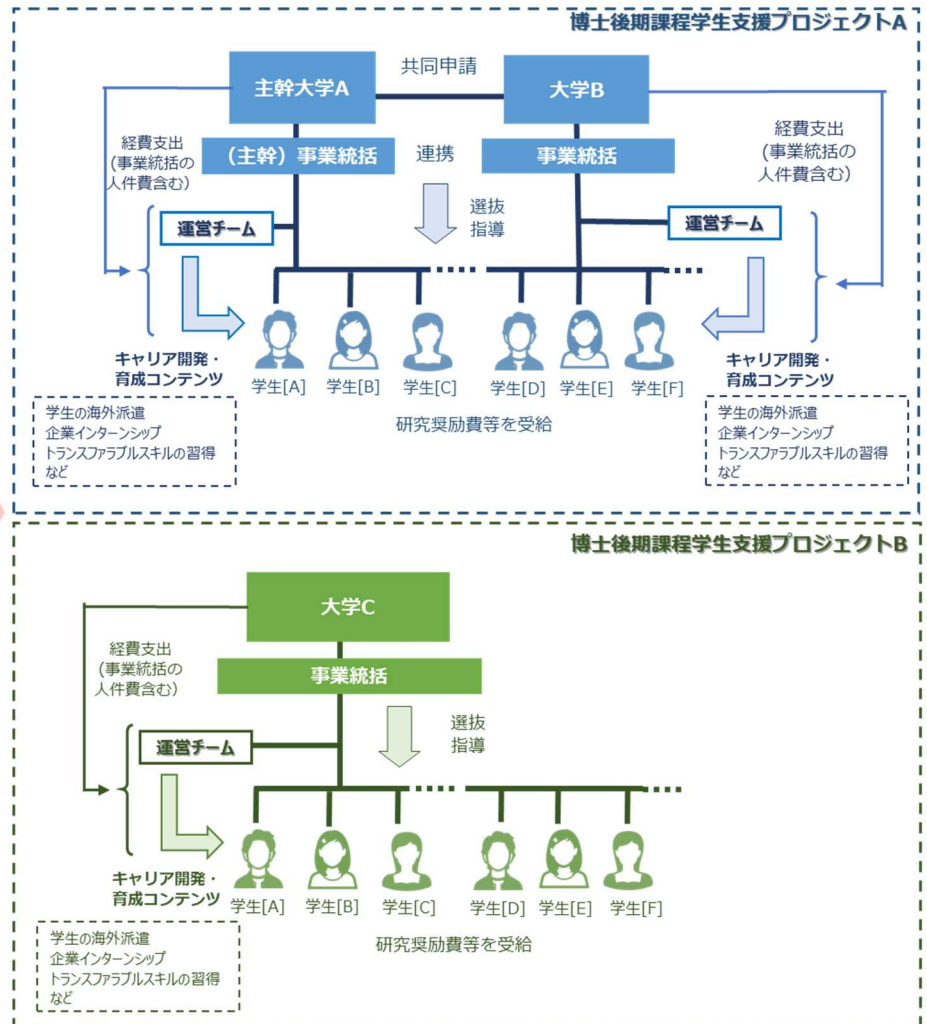
(令和6年12月現在)

「次世代研究者挑戦的研究プログラム」公募概要

1. 事業の趣旨

博士後期課程の学生は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う存在ですが、近年、「進学すると生活の経済的な見通しが立たない」「課程修了後の就職が心配だ」といった理由から、修士課程から博士後期課程への進学者数や進学率に減少傾向が見られ、危機的な状況が指摘されています。志ある優秀な博士後期課程の学生への経済的な支援を抜本的に強化し、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備するなど、日本の博士課程教育システムの改革が強く求められています。本事業では、このような状況を打破するため、既存の枠組みを越えて選抜された優秀な博士後期課程の学生に対して生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツなどの支援を提供します。

- 
- モニタリング・評価
 - 大学間の交流支援
 - 研究奨励費
研究費
 - キャリア開発・
育成コンテンツ費
 - その他



2. 事業の概要

博士後期課程の学生への支援構想である「博士後期課程学生支援プロジェクト」を提案し、その提案を各大学で責任者として実施する事業統括を募集します。

プロジェクト実施大学は、当該事業統括により選抜された優秀な博士後期課程の学生に対し、所属元の変更などのポータビリティを担保した上で自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念できる環境を提供します。さらに、プロジェクト実施大学は当該学生を生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性や学際性の養成、トランスファラブルスキル^注）の習得、インターンシップなどといったさまざまなかたちで支援します。

なお、これらの取り組みを円滑に実施するため、事業統括は、自身の業務遂行を支える運営チームを編成することとします。

注) トランスファラブルスキル

社会人に求められる能力のうち、特に転用・応用可能で、分野や業態を問わず活用するために必要となる汎用性の高いものを指す。

3. 事業の特徴

本事業は、修士課程から博士後期課程への進学者数・進学率の減少の背景として指摘される、経済面やキャリアパスの不安などを解消するため、生活費相当額および研究費支給やキャリア開発・育成支援などを行うのが特徴です。

本事業を通じ、①優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を抜本的に強化し、②博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備し、③それらに資する日本の博士課程教育システム改革の推進を目指します。

4. 実施経費・実施期間

(1) 実施経費

博士後期課程学生 1 人当たりの支給額は最大 290 万円／年

(生活費相当額＋研究費)

※学生 1 人当たり下限を 220 万円とし、事業統括の裁量により変動

(2) 実施期間

安定的な事業継続を行う予定。

(選定された大学の取り組み状況や大学ファンドの運用益による支援策の検討などを踏まえて、毎年度、継続を判断)

(3) 募集期間

令和 6 年 8 月 9 日 (金) から 9 月 30 日 (月) 正午

以上